



GK情報レポート

【2005年発行】

vol. 3

新年号

発行者

権田金属工業株式会社 営業部

神奈川県相模原市宮下1-1-16

電話 042-700-0221

FAX 042-700-0660

E-mail eigyo@gondametal.co.jp

<http://www.gondametal.co.jp>

Contents

1. 新年ご挨拶…代表取締役社長 権田源太郎
2. GK製品情報…「型打鍛造品」の巻
3. 「マグネシウムシボジウム」参加へのご案内
4. 相場情報…2005年見通し、等
5. GKギャラリー…「GK会」よりひとコマ

※「権田金属沿革」は今回はお休みです次回にご期待下さい

皆様でご覧下さい

回覧印										
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

権田金属工業株式会社

1. 新年ご挨拶

新年おめでとうございます。旧年中はいろいろと御引立てを賜り、ありがとうございました。本年もよろしくお願い致します。

昨年、2004年は、受注量、出荷量共に、二年前と比べて10%以上増やすことが出来ました。これはひとえに皆様方のご支援のたまものと深く感謝しております。

しかし一方、お客様の要望に十分応えることが出来たかといいますと、納期対応その他、まだまだ不十分であったと反省しております。

さて、今年の私どもを取り巻く環境は、先ず原料面を見るといろいろと厳しい面があります。国内の銅相場は一年前に比べてトン当たり10万円以上も上がっており、これからも高値で推移しそうな状況です。また、電気銅や非鉄金属のスクラップの品不足が続くことや、その品不足を背景にした電気銅プレミアムの二年連続の大幅な上昇の可能性があり、伸銅メーカーは一様に加工賃収入の減少に直面しつつあります。この点は改善を計っていかないといけないところです。伸銅品の需要面については、やや不透明な点もありますが、以前と比べると企業の負債の処理が進む等、日本経済の地力もついてきており、企業マインドも改善されて来ていると思います。景気が急に悪くなることは無いものと期待しています。

当社の主力製品は、銅ブスバー、銅丸棒、銅アノードと黄銅丸棒の四つですが、これらにつきましては、2004年の反省を踏まえ、社内改善を進め、お客様との意思の疎通をより良くしながら、品質向上と納期対応の改善を計って参る所存であります。

また当社は、今年は今まで以上に鍛造品、加工品の製造販売に力を入れていきます。

お客様と十分な打合せをさせて頂ければ、必ずや皆様方のコストダウンに寄与できるものと考えております。

当社は従来より、高度な技術力を必要とするニッチな分野を手がけて参りましたが、その一環として今年は、マグネシウム板の新しい製法の研究にさらに力を注いで行きます。二月と三月には、それぞれ新潟と東京でシンポジウムに参加し、マグネシウムの研究発表を致します。ご興味のある方は、お越し頂ければ幸いです。

今年も当社は、よりいっそうお客様のニーズと共に歩んでいく所存でございます。担当の営業マンにお気軽に声をお掛け下さい。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

権田金属工業株式会社
代表取締役社長 権田源太郎

2. GK製品情報

当社では1000トンプレス機をはじめ各種のプレス機を備えております。大きなものから小さなものまで各種の精密鍛造品を手掛けております。「素材メーカー」という特色を生かし需要家様に自信をもって「型打鍛造品」をお勧めいたします！ぜひともご検討ください！

2-1 型打鍛造品とは

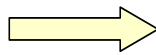
金型に材料をセットして成型(プレス)するものです。セットする材料は、加熱しているもの(熱間)と加熱してしていないもの(冷間)に分かれます。

冷間鍛造は高精度成型に向き、熱間鍛造は複雑な形状の鍛造に向きます。様々な形状のものを一度で成型でき、数が多くなるほど量産効果が上がります。また型打鍛造品は一般的に以下のような特徴があります

- ①・量産に向いている
- ②・仕上形状に近い(そのまま使用できる)
- ③・ロットが多ければ機械加工よりも安く製造できる
- ④・熱間鍛造で大型部品の製造にむいている
- ⑤・温間鍛造で中型部品の製造にむいている
- ⑥・冷間鍛造で高精度部品の製造にむいている
- ⑦・表面硬度を増すことができる



【鍛造後の材料】



機械加工



【機械加工後の製品】

製品形状に近い寸法



少しの加工で製品完成！

無垢の材料から加工するよりも、ずっと小さなコストで製造可能！

2-2 権田金属の型打鍛造品の特徴

- ①材料メーカーなので安く製作できる
⇒素材コストが安く、**10%以上のコストメリット**があります。
- ②金型の設計ができる
⇒**3Dキャド**により設計致します。
- ③鍛造図面の作成ができる
⇒製作図面があれば、**容易に鍛造図面を起こすことが可能**です。
- ④担当技術者が相談に出向き開発のパートナーになれる
⇒お客様・需要家様のご要望・ご希望を一緒に考えます。
- ⑤熱間、冷間の組み合わせが可能
⇒最初に熱間加工で成形し
冷間鍛造で精密加工を行います。
組み合わせで、精密鍛造が可能です。
- ⑥小さいものから大きいものまでできる
⇒製造可能サイズ：**20g³~30kg超**
- ⑦各種材料の鍛造が可能
⇒**銅、黄銅、アルミ、チタン、
ステンレス、ニッケル等**
- ⑧調達～納品まで一貫生産
⇒材料調達、鍛造、後加工、メッキ加工まで**一貫生産**できるので、
ハンドリングにかかる時間が短縮されます。
- ⑨大手に実績
⇒**昭和電線電纜様、東芝様、東洋工機様、日立製作所様、富士電機様**
(50音順)など、大手メーカー様への実績が多数あります。



【真空開閉器装置の例】

◆現在、工場見学も随時行っております。
実際の製造工程をご案内しながら
型打鍛造品を詳しく説明させていただきます！
お引き合いをお待ちしております！

(営業部 小川主任 日吉)

3. 「マグネシウムシンポジウム」参加へのご案内

権田金属工業ではマグネシウム板の新しい製法を研究しています。
この研究成果を出展し研究内容を発表します。

- 1、新潟県燕三条で行なわれる「全国マグネシウムシンポジウム in 新潟県央」に出展します。

主 催 : (財)新潟県県央地域地場産業振興センター
日 時 : 2005年2月9日(水)11時~18時30分
2月10日(木)10時~16時

問い合わせ先 : TEL : 025-636-0886

ホームページ : <http://www.kenohjiba.or.jp/action/sympo2.htm>

- 2、東京国際フォーラムで行なわれる「地域新生産業創造フェア2005」に出展します。

主 催 : 経済産業省関東経済産業局
日 時 : 2005年3月3(木)、4日(金) 両日とも10時~17時。

問い合わせ先 : TEL : 0120-231-640 (平日 10:00~17:00)

事前参加申し込み先ホームページ : <http://www.consor2005.com>

※以上いずれの会場も無料です。

権田金属工業はマグネシウム製造法の研究に対して、補助金を受けています。

「平成14年度神奈川県特定産業集積活性化事業補助金」

「平成15年度経済産業省創造技術研究開発補助金」

平成15年12月には特許を取得しています。

マグネシウムのお問合せは「営業部・高安(タカヤス)」までお願いします。

権田金属工業ホームページ <http://www.gondametal.co.jp>

TEL 042-700-0221

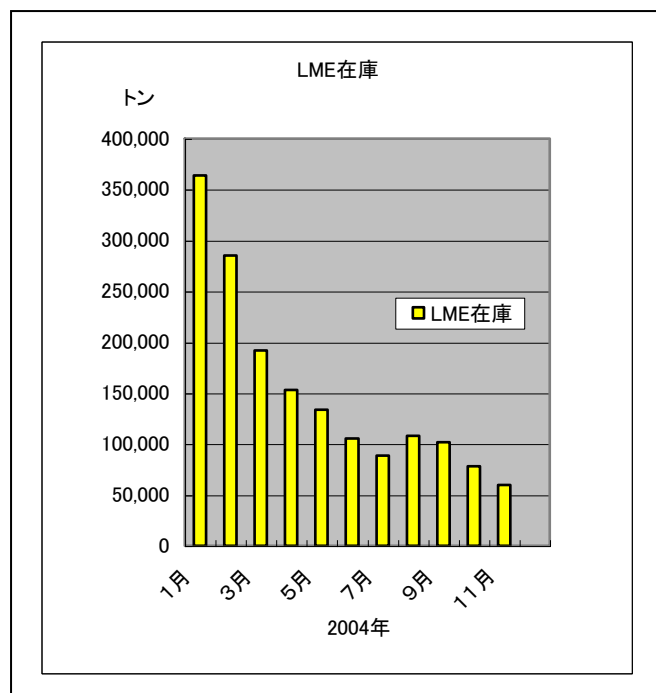
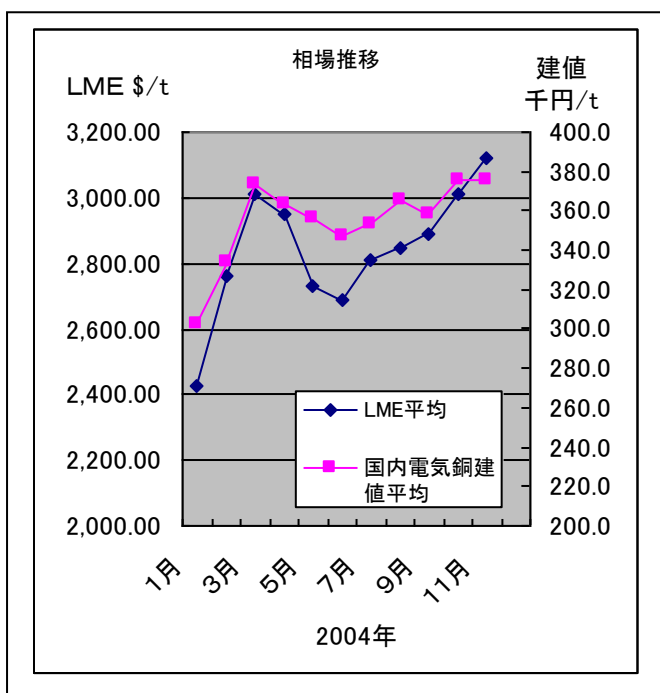
FAX 042-700-0660

4. 相場情報

《 2004年度・第3四半期・銅相場レポート 》

2004年10月～12月の電気銅建値相場 → 高水準で乱高下の様相！

- ・10月 390円スタート（平均 376.0円）
- ・11月 370円スタート（平均 376.0円）
- ・12月 380円スタート（平均 372.6円）
- ・※2005年1月は390円スタートとなりました



◆LME 在庫 05,01,04 現在 48,875MT

LME 在庫は、減少率は鈍化しているものの減少の歯止めが見受けられない状況である。しかし、LME 在庫が簡単にゼロとならないのは、アジア地域での備蓄在庫10万MTの存在が影響していると推測される。中国3万MT、韓国3万MT、その他5万MT。その内の5千MT～1万MTが放出されるのではないかとの情報もある。放出されると在庫減少に歯止めがかかり、増加傾向が出てくると思われる。

◆世界の銅地金需給バランス

需給予測 2005年 需要 17,500千MT 供給 17,200千MT (供給不足)
 2006年 需要 18,000千MT 供給 18,000千MT強 (供給過多)

現物需給面は、依然として供給不足。需要面では、欧米の需要は堅調。アジア地域は、伸び率は鈍化しているものの中国を中心とした需要は依然として底堅い。

供給面では、2005年に各社増産計画を発表しているが、増産の実行は春以降と見られ

年初はまだ逼迫した状況が続くと思われる。各国の精錬所においても増産計画はあるものの増産実行に関する遅れがでている。

インドの精錬所：増産設備はできたが、環境問題、技術問題抱えている。

タイの精錬所：銅鉱石の確保は出来たものの、操業率は60%程度の見込。

チリの精錬所：拡張計画 2006年初めまで遅れる見込。

◆経済状況と為替

米国・中国・欧州は、経済指標によると依然堅調に推移しているが、各々問題点を下記のようにかかえており、先行きは不透明感強く減速懸念が拡大している。

米国：双子の赤字、金利上昇、消費冷え込み、不良債権の急増、イラク問題の長期化

日欧：日欧の輸出急増、日中に巨額の為替差損発生予測

中国：中国市場の急膨張、素材、エネルギー需要急増、資源争奪の激化、環境の悪化

欧州では急激なユーロ高を牽制する意見あるものの米国の財政赤字もしくは貿易赤字が縮小しない限りユーロ高、ドル安の基調は変わらない。

中国人民元は、中国が切上げのメリット、必要性を認識しているので政策変更がでてくれば、ドル相場に大きな影響を与える。

◆相場予測

短期的予測：LME \$2,850～\$3,400 ドル：¥95～¥110 銅建値 340～400

長期的予測：LME \$2,700～\$3,500 ドル：¥95～¥115 銅建値 330～410

現物需給面では大きな変動が予想されない事から、米ドル為替相場動向及び投機資金の動向が相場を左右する要因となるものと推測される。

LMEは現物需給のタイト感強い事からすると、相場を維持している在庫減少、ドル安、供給逼迫が解消されない限り今年前半銅は高価格帯にて推移するものと推測される。

◆銅建値のプレミアム

産銅世界最大手のコデルコは、2005年銅地金の日本向けプレミアム（割増金）を現行の2倍近い過去最高レベルへの大幅値上げを通告してきています。

銅スクラップの中国輸出増による国内スクラップの入手難（コスト高）に加えての製造原料のアップが必至となっております。

伸銅メーカーとしては、早急にロールマージンの改善を計る必要が出てきています。

（営業部 吉田）

5. GKギャラリー

【第98回 GK会ゴルフコンペより】

権田金属工業(株)主催によるゴルフコンペは、長年お取引があるお客様、仕入先様のゴルフコンペです。最近では昨年、11月に相模原ゴルフクラブで行いました。優勝は豊田通商の岩田氏でした。

現在は年2回春、秋に相模原ゴルフクラブで行っており、今回で98回を数えています。昭和50年に60回大会を開催した記録が残っています。現在は年2回ですが、以前は年3回以上開催されたこともありました。「歴史を感じさせるゴルフコンペですね。」(お客様の声) 参加された方々の良い情報交換と懇親の場になっています。
(営業部 高安)

